



事務局

住所：〒285-0858 千葉県佐倉市ユーカリが丘 2-1-8 佐倉ユーカリが丘郵便局留

TEL 080-5966-1187 FAX 043-487-1539

URL：http://www.sakurarose-society.com(公式サイト)

佐倉ばら会の会章(シンボルマーク)は、佐倉ばら会の創立10周年を記念して、市内在住の彫刻家 久保 浩(くぼ こう)氏に制作を依頼したものです。今後、末長く皆さんに愛されていくことを願っています。

羽根井邸庭園観賞とランチを楽しむ会を開催

令和5年(2023年)5月20日(土)に、佐倉市宮本の羽根井慎敏さん・和子さんとご夫妻が管理する羽根井邸の庭園観賞とランチを楽しむ会が開かれました。



和やかに観賞



手入れされた庭園

参加されたみなさん

豊かな自然に恵まれた佐倉市南部に位置している羽根井邸は、広さ約500坪(約1650平方メートル)の、和と洋に分かれたご夫妻による手造りの庭園です。敷地内の和風庭園は、茶室にあうように、桜、モミジ、椿、シャクナゲ、シダ等の植物を集め、四季の移り変わりを楽しめます。また、洋風庭園には、落葉樹を主に、コニファー、白樺、マユミ等の木に、オールドローズを中心にしたバラやクレマチス、ハーブ類の下草が配置されており、四季折々に緑深い自然を楽しめる落ち着いた雰囲気のある庭園となります。

参加された皆さんは、羽根井ご夫妻に庭園の説明を

いただきながら、散策し、草木の姿や花の美しさを感じ取られたようです。

午後からのランチは、羽根井邸から移り、東関東自動車道の佐倉インター近くの根郷地区で、古くから愛されているフレンチ料理店「アンシャンテ」でランチコースを楽しみました。

コロナ禍によって、懇親会もここ数年開かれていなかったため、会員同士の久しぶりの親睦会となり、皆さん楽しい時間を満喫された様子でした。



ランチ風景

佐倉ミステリーローズ調査プロジェクト

調査プロジェクトのアドバイザー、御巫由紀さんによると、ミステリーローズという言葉が生まれたのは、1979年にイギリスのバラの権威であるピーター・ハーケネス氏が、パミュエダを訪れ、そこで収集、保存されている古いバラの一群を、パミュエダ・ミステリーローズと名付けたのが最初だということです。その後、この言葉は、次第に意味が広がり、現在では、世界各地の名前や由来が不明ではあるが、その地域の気候に合って、長く栽培されてきたバラを指す言葉として使われているようです。ファウンドローズ(Found Roses)と呼ばれることもあるとのことです。

佐倉市内にも由緒の不明なバラを多く見かけますが、これらのバラは、比較的古い地域に多く、地域も後継者不足等で過疎化が進み、手入れが行き届かなくなり、関心の低さも助長し、そうしたバラもその姿を消しつつあります。こうした背景もあり、それらのバラを調査して、記録に残しておくことが喫緊の課題との観点から、今回、佐倉ミステリーローズ調査プロジェクトによりその調査が行われたものです。

佐倉ミステリーローズ調査プロジェクト メンバー(敬称略)

- ▽スーパーバイザー 堀田正典・堀田恵美
- ▽代表 前原克彦
- ▽事務局 石川英二・七戸由美子
- ▽メンバー 稲岡一乃・葛西広子・深作道子・松平誠子・安木保・湯浅宗倫
- ▽アドバイザー 大久保直美(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 野菜花き研究部門 グループ長補佐 農学博士) 御巫由紀(千葉県立中央博物館自然誌・歴史研究部 植物学研究科長 農学博士)

お知らせ ■ 佐倉ばら会ホームページ更新

佐倉ばら会のホームページが新しくなりました。今後も、的確な情報提供を行いながら、より多くの皆さんにご利用いただけるよう、内容の充実を図ってまいります。引き続き、当会に対しまして、ご支援ご協力をお願いいたします

■ 佐倉ばら会事務局 ■

〒285-0858 千葉県佐倉市ユーカリが丘 2-1-8 佐倉ユーカリが丘郵便局留
電話：080-5966-1187 FAX：043-487-1539

佐倉市のミステリーローズを調査 その成果を冊子にまとめて出版



佐倉 堀田邸ミステリーローズ

田邸ミステリーローズを含む、23品種のミステリーローズについて詳細な調査が行われました。調査は、市内各地域に点



冊子の表紙



内容の一部

佐倉市内に残る名前や由来不明のバラを調査して、後世に伝えて行くことを目的に、2021年(令和3年)に発足した、佐倉ミステリーローズ調査プロジェクト(佐倉ばら会・NPO バラ文化研究所・その他専門家などの有志によって構成)による調査が終わり、その成果が冊子にまとめられました。

この調査プロジェクトでは、佐倉ばら会と佐倉商工会議所により、2020年から2021年にかけて、希望する市民などに約1000本の苗が無料配布された「佐倉 堀田邸ミステリーローズを含む、23品種のミステリーローズについて詳細な調査が行われました。調査は、市内各地域に点在するミステリーローズについて、樹形、樹高、葉の色、花弁数、香りなど、30項目以上について確認し、さらに、蕾、葉、花弁など部位ごとに整理し、ルーペを使いながら、細部にわたってその形態を記録しました。

また、個人宅のミステリーローズについては、所有者のご協力をいただき、聞き取り調査を行い、その歴史などについても、可能な範囲でまとめる作業を行いました。そして、全体での調査報告会を適宜開催し、進捗状況の確認、専門家によるアドバイス等を受け、収集データの整合、統一を図りました。

冊子は、佐倉街づくり文化振興白井基金の助成をい

ただき、「歴史を語る城下町のバラ」佐倉ミステリーローズとして、B5版、192ページにまとめられました。この冊子については、郷土のバラについて、より一層広く知っていただくことを願って、佐倉市内の小中学校、高校、公共施設、千葉県内の図書館等に、無料配布いたしました。



植栽されたミステリーローズ

佐倉ばら会の活動に、皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。



シリーズ 話題のバラ 歴史的な名花



前原克彦佐倉ばら会会長による、新シリーズ 5 回目です。

memo

HTは、「Hybrid Tea」の略で、現代バラの四季咲き大輪系のバラを総称しています。

芳純 (Hohjun) HT1981年 鈴木省三作出

深鈴木省三氏にその昔、あなたは自分で作出したバラの中でどのバラが一番好きですか?と聞いたことがあります。彼は即座に「芳純だね」と答えました。このピンクの控えめなバラは、作出したバラの中で一番香りのバランスがとれていて、豊かな香りがするそうです。確かに甘く、爽やかで、フルーティーで、誰でもが惹かれる香りがします。草ぶえの丘バラ園にも2株植栽されていますので、5月中旬になりましたら是非その香りを試してください。



ナイトを囲んでバラと ボジョレーを楽しむ集いを開催

令和5年(2023年)10月20日(金)に、ナイトを囲んでバラとボジョレーを楽しむ集いが開かれました。ここ数年はコロナ禍で開かれていませんでしたので、4年ぶりの開催となりました。ナイトとは、佐倉ばら会会長の前原克彦氏のごことで、同氏は、平成27年(2015年)5月27日(水)から6月4日(木)まで、フランスのリヨンで開催された、世界バラ会連合第17回世界大会で、フランス・ボジョレーの騎士団協議会から、バラ界の重鎮で、バラ文化普及の功労者としての功績を高く評価され、コンパニオン・デュ・ボジョレーの騎士号を授与されています。



前原氏によるバラの解説

当日は、午前中に、秋バラの咲く佐倉草ぶえの丘バラ園内のバラについて、前原会長の解説を聞きながら散策し、午後からは会場を八千代市勝田台の貝殻亭に移し、コースランチとボジョレーワインを楽しみながら、会員同士の親交を深めました。



貝殻亭での懇親会

つるバラの剪定(誘引)講習会を開催

NPOバラ文化研究所とのコラボレーションにより、佐倉草ぶえの丘バラ園で、令和6年(2024年)1月31日(水)につるバラの剪定(誘引)講習会が開かれました。

バラの剪定(誘引)は、バラが冬の休眠期間中に、その作業を行い、新旧の枝を更新し、全ての枝が太陽の光に当たり、風通しの良い状態になるように樹形を整えることと併せ、生育不良や病虫害などがあれば、適切に処理を行います。新旧の枝の更新の原則としては、花をつけない細い枝、重なる枝、陰になる枝を除去して、養分を良い花芽に集中させます。さらに、樹形を乱す枝も整理して平均に枝を誘引することで、適度な風通しを図り、葉にまんべんなく太陽が当たるようにして、どの枝にも美しい花がたくさん咲くように措置するのが、この時期の剪定(誘引)の最大の目的です。



講習会から

参加された皆さんには、前もって当日の作業概要について説明を受けた後に、剪定バサミを持って現場に向い、バラの枝の剪定、枝をポールやスクリーンに結び付けたりする実践的な講習を体験を通して、剪定(誘引)の技術を学んでいただきました。



現地実習の様子



サロントークの様子

令和5年(2023年)7月22日(土)に、佐倉市立美術館4階ホールで、蓬田バラの香り研究所(株)所長の蓬田勝之氏によるサロントークが開かれました。

今回は「バラの香りの視覚化と生理・心理作用」についての講演がありました。要旨は以下の通りです。

→バラの香りは、その匂いの仕組みや香り科学の発展により、目には見えない香気成分の解析やその有用性が研究されるようになりました。バラの香りは、花卉から発散され、半開初期が最も美しく香ります。バラの香りの全体を把握するために、嗅覚と成分から7つのタイプに分類し、視覚的に表現したバルファム図や、表象マップを作成し、野生種からモダンローズまでの特徴を評価し、研究を続けています。従来、バラの香りの研究は、ローズオイルを対象に行っていましたが、モダンローズの香りが香料バラと質が違ってくることに気がつきました。そして、香料バラにはまったく含まれていないにも関わらず、モダンローズのほとんどに含有されている成分を発見しました。これをティーローズ・エレメントと名づけました。この香りの成分のルーツを追求していくと、中国大陸の野生種ロサ・ギガンティアにたどり着きます。より美しいバラをもとめる育種交配の歴史の中で、西洋と東洋のバラが融合し、モダンローズの香りへと育まれてきたのです。モダンローズに含まれているティーローズ・エレメントの効果

が研究により実証されています。

心拍変動および脳波(CNV:随伴性陰性変動)測定の結果、鎮静作用に働くこと、唾液中のコルチゾールの分泌量を測定することで、ストレス緩和効果のあることも判りました。また、女性にとってうれしいスキンケア効果も認められています。肌は、体の水分を保持し異物を体に侵入させないという大事な役目を担っています。もし傷つけば角質層のバリア機能が働いて元へ戻そうとしますが、実際には内的なストレスがあると戻りにくいものです。これら香りの生理・心理への影響は、アロマコロジー研究と言えます。



講演中の蓬田氏

バラの香りは、夜明けとともに香り立ち、刻々と変化します。そして、ティーローズ・エレメントを含む数百の香り成分がハーモナイズする時、奥深い至高の香りが訪れます。春や秋のバラのシーズンには、香りのシンフォニーとも言える素晴らしい瞬間、いわば、至高体験をぜひ味わっていただきたいと思います。

蓬田勝之氏により、バラの香りが秘めている力について、図解を交えながらの分かりやすい解説が行われました。また、蓬田バラの香り研究所が作った香りのサンプルである、ロフィック・ビーンズの紹介もありました。ロフィック・ビーンズは、古代バラから現代バラを調査・分析し、ダマスク・クラシック、ダマスク・モダン、フルーティ、ティー、ブルー、スパイシー、ミルラ、ブルガリアン・ローズの8タイプのバラの香りを開発し、カラフルなビーンズとしたものです。好みのビーンズを組み合わせて、自分のオリジナルな香りを作ることも出来る、割合(粒数)を変えることにより、様々なバラの香りを楽しむことも出来るということです。なお、平成6年度に予定しているサロントークでは、このロフィック・ビーンズを使つてのワークショップを計画しています。日程等は、決まり次第、会員の皆様にお知らせいたします。

令和4年度に引き続きサロントークを開催
蓬田勝之氏が講演
「バラの香りの視覚化と生理・心理作用について」

佐倉ばら会の事業について

令和5年度

令和5年度事業は、新型コロナウイルス感染症への移行を踏まえ、感染予防に配慮しつつ、予定事業を実施しました。当会会員のバラガーデン及び庭園の観賞案内(湯浅部・佐藤部・羽根井部・貝殻リゾートガーデン)、市内羽根井部の庭園観賞会とランチを楽しむ会のほか、サロントークも前年度に引き続き実施しました。JR佐倉駅北口前のガーデン整備、志津コミュニティセンターの花壇整備は年4回、植栽、草取り等を行うと共に、市内の小中学校13校のバラ花壇の剪定等を行いました。また、ナイトを囲んでバラとボジョレーを楽しむ集い、NPOバラ文化研究所とのコラボで、つるバラ、木バラの剪定講習会を実施しました。なお、染井野小学校花壇、七井戸公園バラ花壇は、地区の皆さん及び当会会員有志により、週単位での日常の維持管理活動、除草、剪定作業等が行われました。佐倉ミステリーローズの調査については終了し、その成果を冊子にまとめました。

令和6年度

令和6年度の現段階での予定事業としては以下の通りです。当会会員のバラガーデン及び庭園の観賞案内、日帰りバスツアー(茨城県の藤澤邸つくばローズガーデン、坂野ガーデンの見学を5月下旬に予定していますが、諸般の状況で中止の場合もあります)、7月にサロントークとワークショップ、冬期につるバラ、木バラ(誘引)・剪定講習会、10月にナイトを囲んでバラとボジョレーを楽しむ集い等です。また、JR佐倉駅北口前ガーデン整備と、志津コミュニティセンターの花壇整備、市内13小中学校のバラ花壇の剪定、地区の皆さんと、会員有志による染井野小学校及び七井戸公園内のバラ花壇の維持管理は、令和6年度も実施してまいります。なお、今後の事業実施にあたりましては、会員の皆様には、個別にその都度ご案内を差し上げる予定です。事業実施の際には、多数の皆さんの積極的なご参加をお待ちしています。